

公認会計士協会 ー 近畿財務局

第282回 企業財務研究会 開催

令和7年4月10日(木)
@近畿財務局

令和7年5月8日
近畿財務局 統括証券監査官
きんざいNews vol.141

地域で活動する日本公認会計士協会の関西3会（近畿会、兵庫会、京滋会）と、近畿財務局の証券監査官部門が一堂に会し、主に企業内容等の開示に関する会計処理上の諸問題を議論・研究する会です。1972年より開催しており、今回、282回目の開催となりました。



公認会計士協会 近畿会

発表テーマ（今回は近畿会が発表）
「KAM事例分析に見る
監査基準報告書540「会計上の見積りの監査」
改正の影響」

金融庁 企業開示課からも説明（web参加）
①「令和6年度有価証券報告書レビューの結果公表
の解説」（サステナビリティ、政策保有株式等）
②「記述情報の開示の充実に向けた取り組み
～中堅中小上場企業の開示の好事例について～」

公認会計士協会より計23名、当局は理財部次長以下7名、金融庁からwebにて2名の参加がありました。協会側からは、「好事例について、監査相手方（地域の企業）に還元できる内容もあり、有意義」との声をいただきました。

近畿財務局では、今後も、「あなたの地域の金融庁」として、地域貢献に努めてまいります。

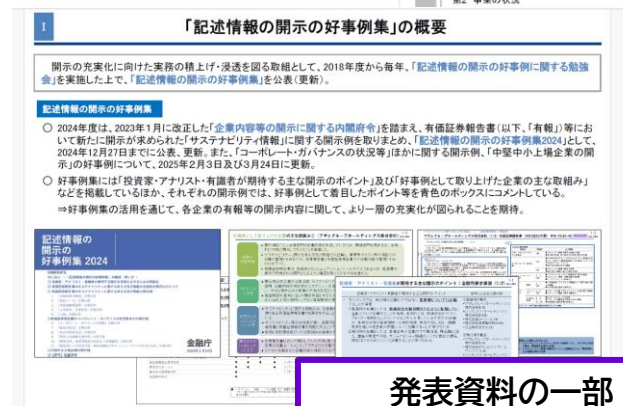


近 畿 財 務 局

留意事項等まとめーサステナビリティに関する企業の取組の開示(1/2)

□ 主な課題は以下のとおりである。本資料の20～35ページにそれぞれ具体的な留意事項等について、事例を交えて解説している。また、課題への対応にあたって参考となる開示事例を本資料の別冊付録として取りまとめているので、参考にしていただきたい。

主な課題	
① サステナビリティ関連のガバナンスに関する記載がない又は不明瞭である	
② サステナビリティ関連のリスクを識別、評価及び管理するための過程に関する記載が不明瞭である	
③ サステナビリティ関連の機会を識別、評価及び管理するための過程に関する記載がない	
④ 識別したサステナビリティ関連のリスク及び機会に対応する戦略並びに指標及び目標に関する記載が不明瞭である	
⑤ サステナビリティ関連のリスク及び機会に記載がない又は不明瞭なため、サステナビリティに関する戦略並びに指標及び目標に関する記載が不明瞭である	
⑥ 戦略並びに指標及び目標のうち重要なものについて記載がない	



発表資料の一部